



第6回「アスナビ」意識調査〈選手編〉 『総合満足度は過去最高水準に』 ～アスナビでの入社により、競技に集中できているだけでなく、 人脈の拡大、社会人としての成長にも繋がったと評価

JOCキャリアアカデミー事業では、2022年度末にアスナビ採用実績が219社367名となりました。2021年度に引き続き、採用企業と選手のWin-Winの関係を更に構築していくことを目的とし、アスナビ就職選手・採用企業を対象に、意識調査を実施いたしました。今回、本アンケートの集計結果がまとまりましたので、ここに報告させていただきます。

■ アスナビでの入社満足度

「満足」の割合は85%と過去最高値

▶アスナビで入社したことによる全体的な満足度について、「満足」と回答した者85%で、「やや満足」と合計すると、ほぼ全員（98%）が満足と回答した。「満足」の割合は調査開始以来最高値となった。

■ 勤務先を決めた理由

競技への理解と企業の担当者の人柄が勤務先決定の主要因

▶勤務先決定理由として最も多かったのは「競技について理解があったから」の76%で、次いで「企業の担当者の人柄が良かったから」「企業から声をかけていただいたから」と続く。

■ 競技と仕事の両立について

「仕事のやりがい」を“とても”感じている割合は過去最高値

▶現在の競技以外の仕事におけるやりがいについて、選手は「とてもそう思う」が46%で、「ややそう思う」を合わせると8割となっている。選手での「とてもそう思う」の割合は調査開始以来最高値となった。

■ 入社後の変化

競技に集中できているだけでなく、人脈の拡大、社会人としての成長にも寄与

- ▶「とてもそう思う」の割合が大きいのは、「十分な練習ができている」「応援してくれる人が増えた」。一方、「入社前以上の質の高い練習ができている」「競技力がアップした」といった競技面に良い効果をもたらしていることも実感している。
- ▶仕事面では、「スポーツ以外の人脈ができた」「社会人として成長ができている」をあげた者が5割を超える。

■ 競技引退後の職業

現在の勤務先での継続勤務意向が高い

▶引退後の職業について、「現在の勤務先にそのまま残る」は9割弱と突出して高い。

■ 調査に関するお問い合わせ先

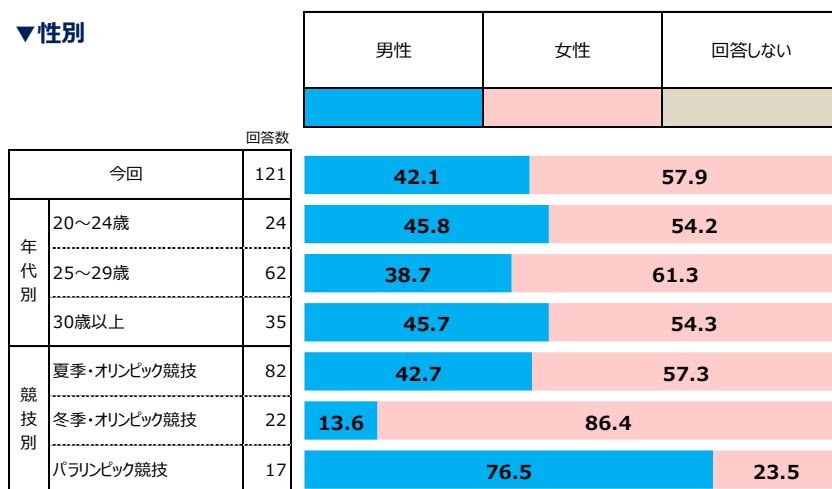
JOC キャリアアカデミー事業 アスナビ調査担当
TEL : 03-5963-0354 E-mail : career@joc.or.jp

【調査概要】

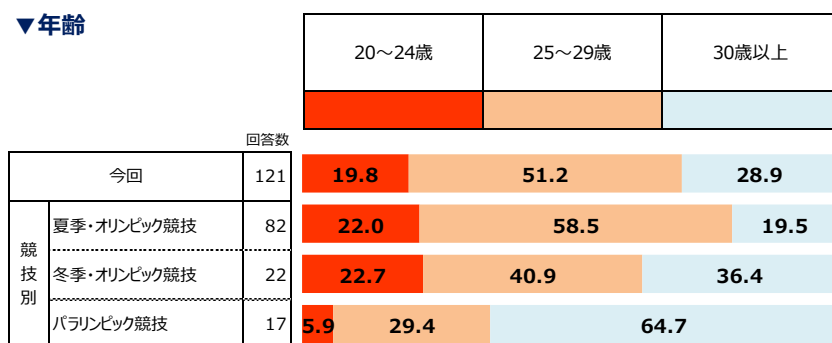
1. 調査目的 アスナビ就職選手と採用企業の実態を明らかにし、選手と企業間でコミュニケーションを図るよう支援をする。
2. 調査期間 2022年12月20日～2023年2月1日
3. 調査対象 アスナビを通じて就職をした選手248名
※但し、2022年12月末日時点で既に退職している者、または内定（入社前）者は含まない。
4. 調査方法 【送付】アスナビによるアスリート採用を行った企業担当者あてにメール送信
→担当者から所属選手にメール送信
【回収】Webからの回答
5. 主な調査項目 ①アスナビ就職選手の入社前について
②アスナビ就職選手の入社後について
③アスナビ就職選手の引退後について
6. 集計者数 121名（回収率：48.8%）

【回答者プロフィール】

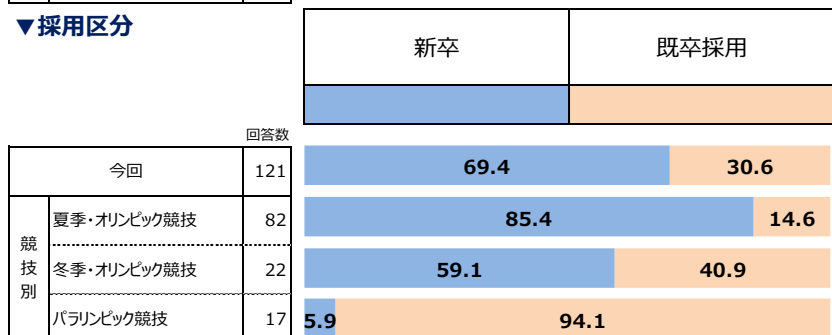
▼性別



▼年齢



▼採用区分



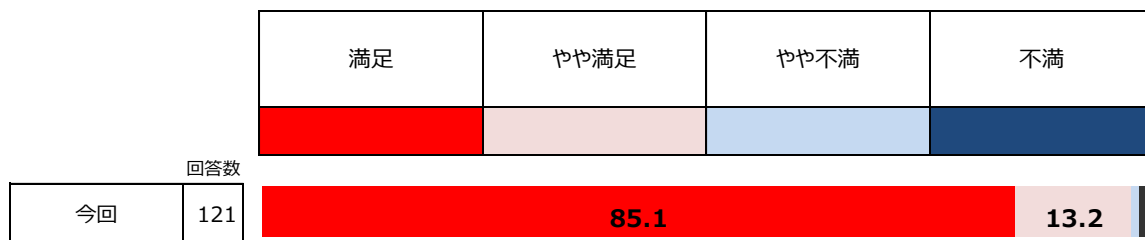
図表内の数値の単位はすべて%（次頁以降も同じ）

1. 入社満足度

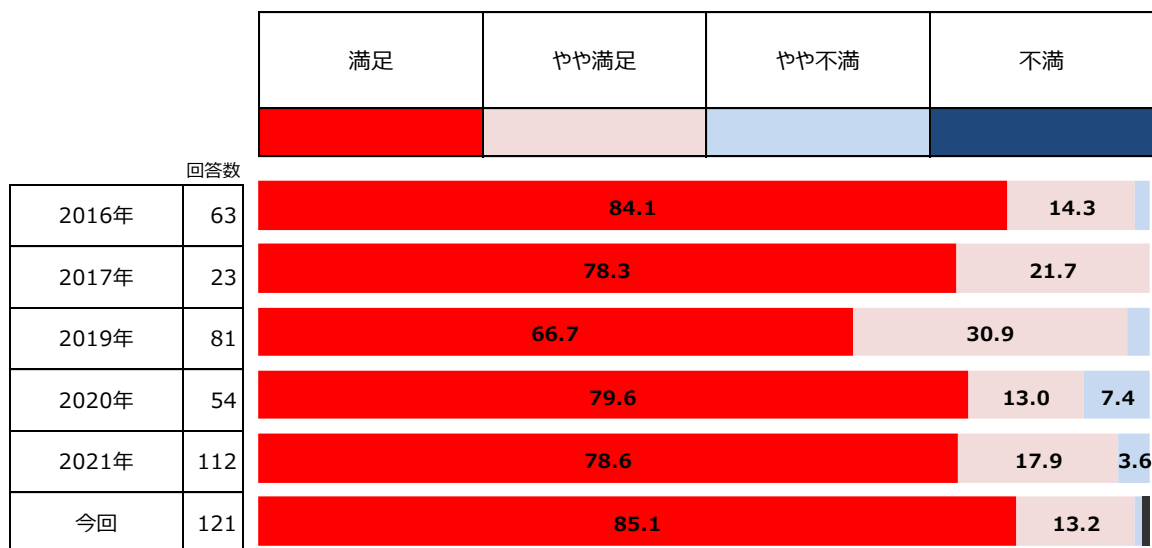
アスナビで入社したことによる全体的な満足度について、「満足」と回答した者85%で、「やや満足」と合計すると、満足度は98%となった。

過去調査と比較すると、「満足」の割合は2019年以降、増加傾向が続いており、僅差ではあるが、調査開始以来最高値となった。

■アスナビでの入社満足度



■アスナビでの入社満足度：時系列推移



単位：％

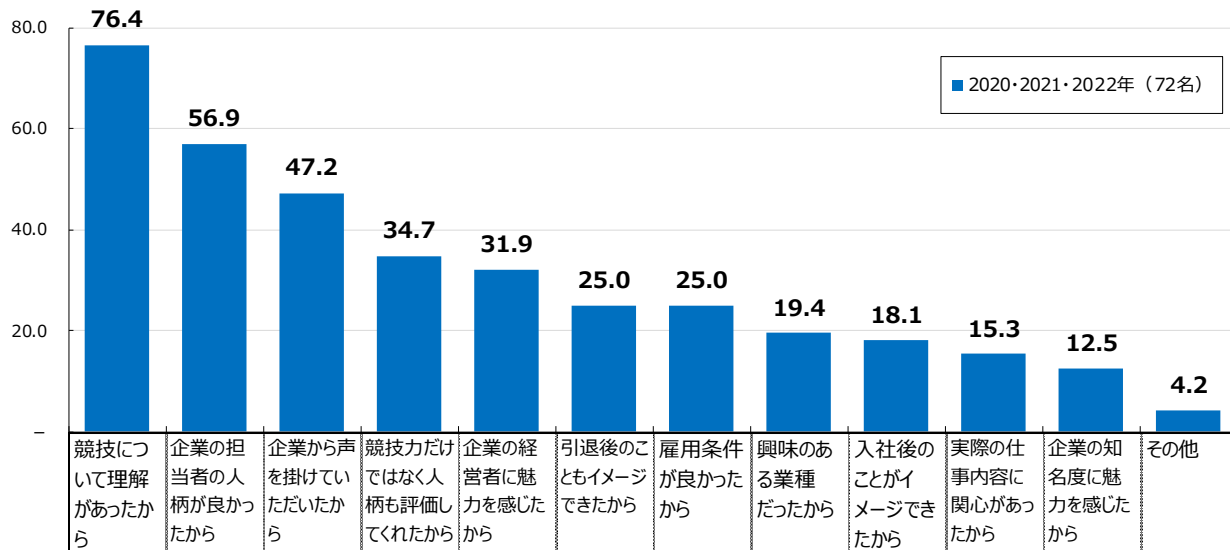
※3.0ポイント未満の表記は省略

2. 勤務先を決めた理由

勤務先決定理由として最も多かったのは「競技について理解があったから」の76%で、次いで「企業の担当者の人柄が良かったから」「企業から声をかけていただいたから」と続く。競技への理解と企業の担当者の人柄が勤務先決定の主要因となっている。

※ 今回の対象期間にアスナビで就職した社員は11名と少なかったため、2020年・2021年の数値と合算して集計したデータを掲示する。

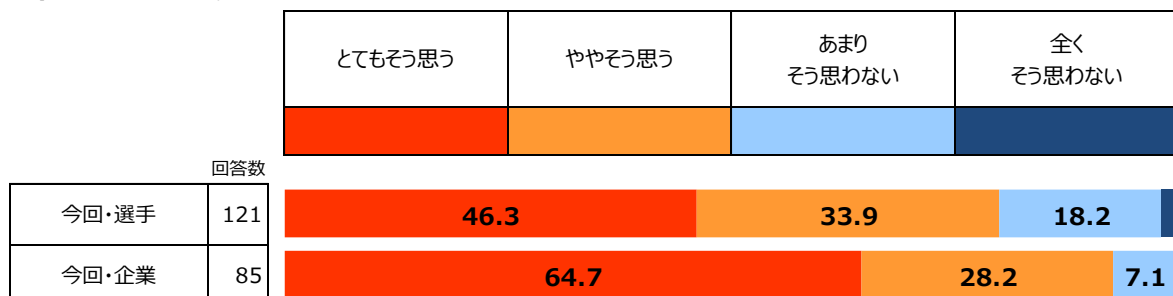
■ 勤務先を決めた理由



3. 入社後の状況 ～競技と仕事の両立について～

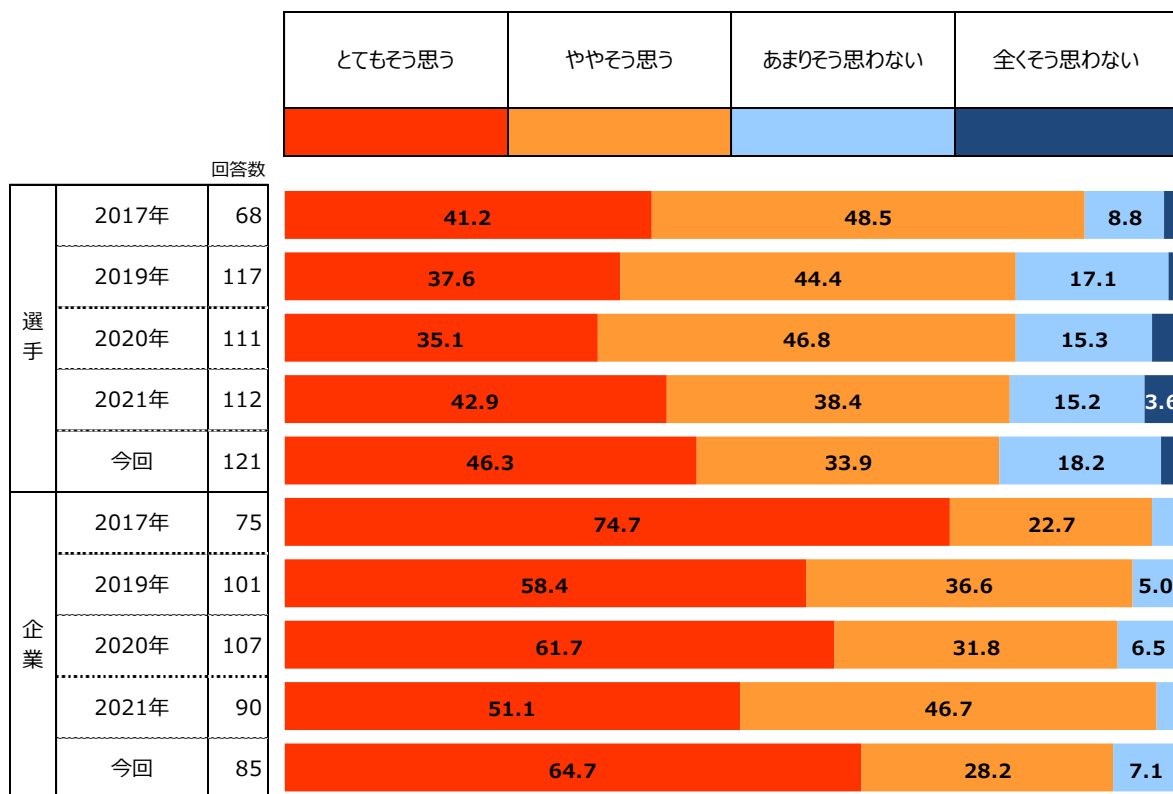
現在の競技以外の仕事におけるやりがいについて、選手は「とてもそう思う」が46%で、「ややそう思う」を合わせると8割となっている。企業の回答は、アスリート社員のやりがいを、より強く評価する傾向にあり、「とてもそう思う」が65%となっている。また、選手での「とてもそう思う」の割合は調査開始以来最高値となった。

■ 仕事に対するやりがいが感じられるか



※3.0ポイント未満の表記は省略

■ 仕事に対するやりがいが感じられるか：時系列推移



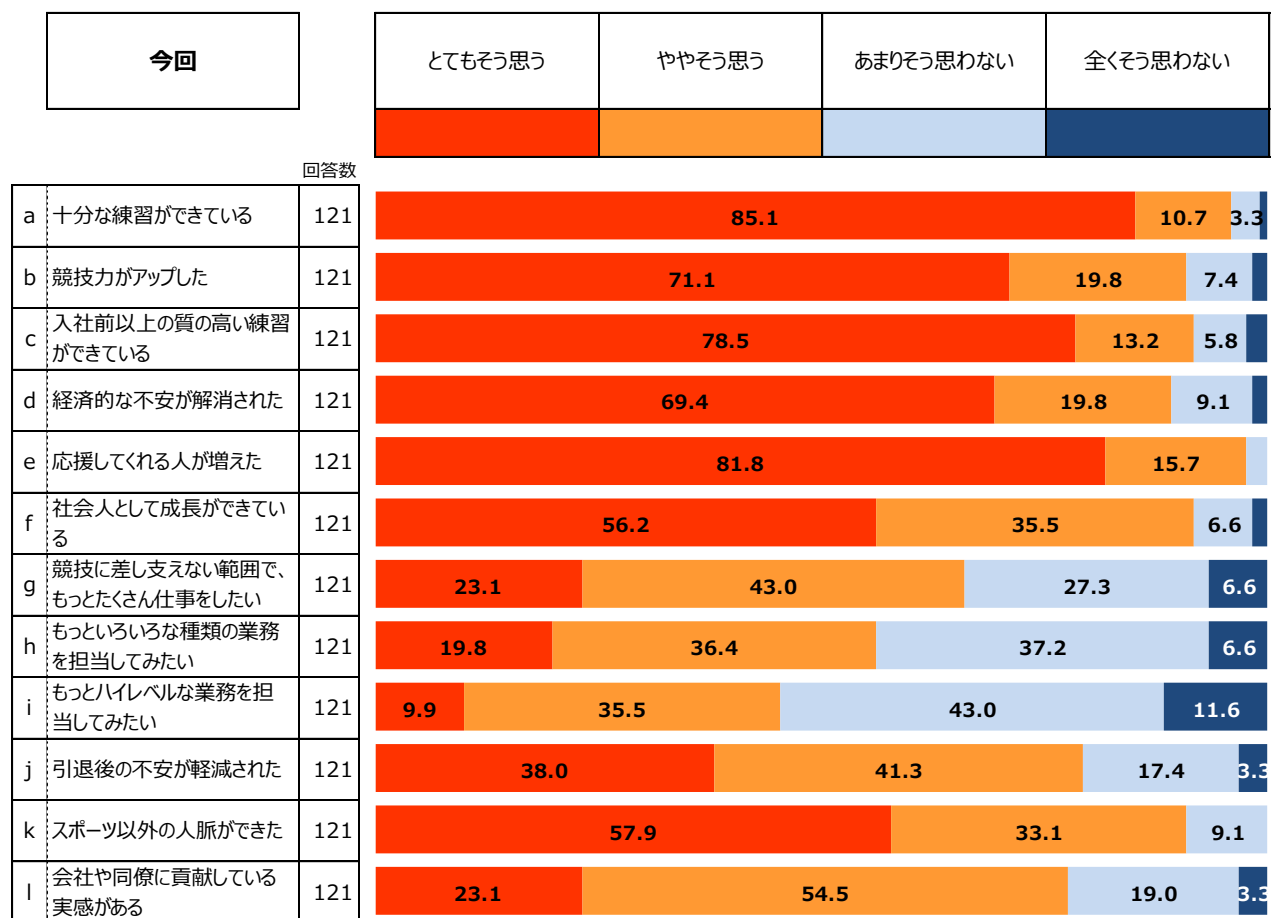
単位：％

※3.0ポイント未満の表記は省略

4. 入社による状況変化 ～入社し、良かったことについて～

「とてもそう思う」の割合が大きいのは、「十分な練習ができています」「応援してくれる人が増えた」であり、8割を超えた。「入社前以上の質の高い練習ができています」「競技力がアップした」も「とてもそう思う」の割合が7割台と高い。一方、仕事面では、「スポーツ以外の人脈ができた」「社会人として成長ができています」をあげた者が5割以上いるが、「もっとハイレベルな業務を担当してみたい」「もっといろいろな種類の業務を担当してみたい」は「そう思わない」と考える者の割合が、他の項目に比べ高くなっている。

■ 入社してからの状況

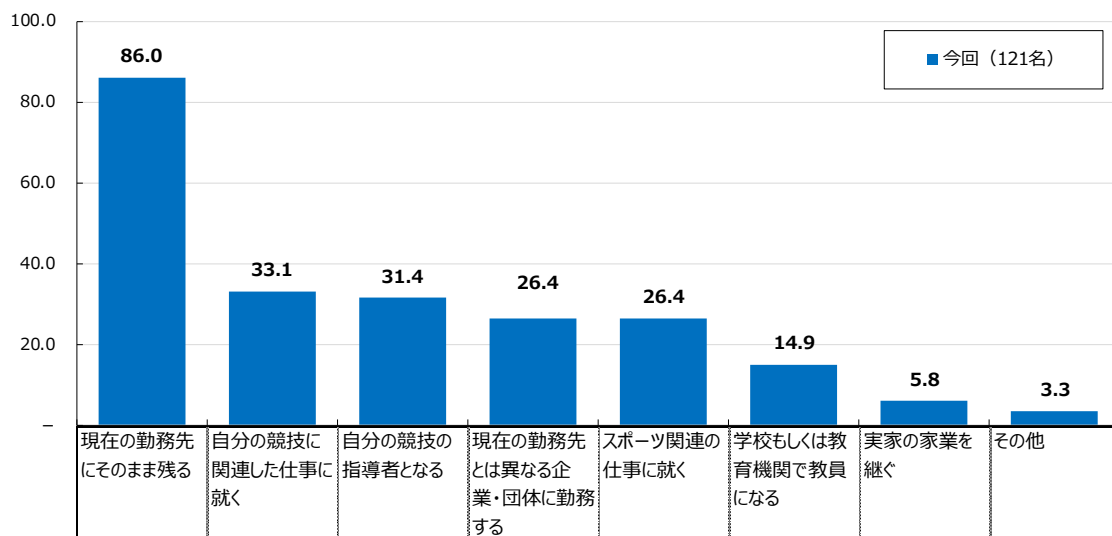


※3.0ポイント未満の表記は省略

5. 競技引退後の職業

9割近くが「現在の勤務先にそのまま残る」と回答しており、突出して高い。

■ 競技引退後の職業



今後に向けて

1. 本調査を通じて見てきたアスナビで採用された選手の意識や課題を採用企業と共有する中で、今後より一層の競技と仕事の環境整備につなげ、企業とアスリートとのWin-Winの関係を強くしていきたいと考えます。
2. 上記を実現するため、今年度もアスナビ採用選手研修会や企業情報交換会を開催し、社会人としての基本的なスキルの提供や選手間どうしの交流、また採用企業間のナレッジ共有や交流を進めて参ります。